

■事業内容（新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から各事業における対応を追記）

事業名称	A. 在宅療養に関する相談支援
実施内容	在宅療養を支援する相談窓口として、市民を始め、医療・介護の多職種、いきいき支援センターからの在宅療養に関する相談に対応する。
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅療養者からの相談においては、必要に応じて、医療機関を始め、多職種間の連絡調整等を行い、療養者が安心・安全な在宅生活を送ることができるよう支援する。 ・医療・介護サービスを提供する多職種からの相談に対しては、その連携が円滑に進むよう調整し、支援体制づくりを行う。
対応	<ul style="list-style-type: none"> ① 電話による相談は実施。 ② 来所者への相談は別添マニュアルに沿って対応する。 ③ 出張相談は実施しない。

事業名称	B. 在宅療養への移行支援
実施内容	医療・介護関係者等からの依頼に基づき、多職種間の連携調整などを行い、在宅療養への移行を支援する。
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅療養への移行に係る連携調整を行い、速やかな在宅移行を支援する。 ・かかりつけ医のコーディネーター役として、在宅療養への移行に係る連絡調整を行い、かかりつけ医による在宅医療の提供を支援する。

事業名称	C. 医療・介護資源の把握
実施内容	<p>令和元年度実施の医療資源調査のリスト化及びHPでの公開を行う。</p> <p>また、把握できなかった情報については、医療機関への訪問調査等により、引き続き調査を行う。介護資源については、既に公開されている情報を活用する。</p> <p>※令和元年度実施の医療資源調査 医療機関及び訪問看護ステーションを対象として市内統一の調査方法にて実施。</p>
ねらい	調査結果は、市民または多職種への情報提供に活用する。また、医療・介護連携の取り組みに活用する。
対応	① 未回答医療機関への再調査の実施。（調査票の郵送+Webフォーム）

■事業内容（新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から各事業における対応を追記）

事業名称	D. 医療・介護関係者の情報共有の支援
実施内容	医療・介護の多職種による情報共有支援の一環として「はち丸ネットワーク」の利用促進を行い、在宅療養者の情報の共有を支援する。
ねらい	在宅療養者を支える多職種による情報共有を推進する。在宅療養者の状態の変化、また、療養に対する意向の変化等の情報を多職種間で速やかに共有する。
対応	<p>① 各区はち丸在宅支援センターによる事業所への出張説明会は実施しない。</p> <p>② はち丸ネットワークの利用に係る支援について、電話・メールにて対応。</p> <p>各区はち丸在宅支援センターで対応が困難な場合ははち丸ネットワークサポートセンターにて依頼。サポートセンタースタッフの訪問対応時の同行については、必要に応じて地域包括ケア推進課にて対応する。</p>

事業名称	E. 在宅医療・介護連携推進会議の開催
実施内容	医療と介護の連携推進を図るため、医師会、歯科医師会、薬剤師会、訪問看護ステーション、ケアマネジャー、介護サービス事業者、いきいき支援センター、行政等の関係者を構成員とする会議を設置のうえ、「在宅医療・介護連携」「在宅医療の提供体制」に関すること等について現状把握と課題の抽出・対応策の検討を行う。また、必要に応じて、会議の下部組織として、職種別の委員会やワーキンググループ等を開催する。
ねらい	地域における医療・介護の連携に係る課題を抽出する。 また、課題解決に向けた取組みの検討・実施を協議する。
対応	① 原則、書面にて開催する。

■事業内容（新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から各事業における対応を追記）

事業名称	F. ガイドライン活用に係る研修会の開催
実施内容	名古屋市の在宅療養者がいつまでも安心・安全な在宅生活を送れるよう、医療・介護の多職種が在宅療養者本人の意思決定を尊重し、連携して支援するための指針として作成した「なごや在宅医療・介護連携ハンドブック～名古屋市における在宅医療・介護連携ガイドライン～」について現場で活用できるようグループワーク等を含む研修会を実施する。
ねらい	・医療・介護連携に携わる多職種にガイドラインを周知し多職種連携の標準化を図る。 ・現場の連携課題を今後のガイドラインへ反映させる。
対応	① 各区はち丸在宅支援センターでは開催しない。 ② 16 区を対象に名古屋市医師会館 6 階にて開催。 ③ 開催後、研修会の動画を HP 等で公開。

事業名称	G. ACP 研修会（フォローアップ編）の開催
実施内容	在宅療養者の意思決定を支援するプロセスについて理解を深め、地域での多職種による支援体制づくりを推進するために、令和元年度実施の ACP 研修会（概論編）において抽出された課題を基に、フォローアップとしての研修を実施する。
ねらい	多職種による ACP への取組みを促進する。
対応	① 各区はち丸在宅支援センターでは開催しない。

事業名称	H. 在宅医療研修会の開催（本会にて 16 区を対象に実施）
内容	在宅医療の推進を図るため、在宅医療に興味がある、また、在宅医療への参画を検討している医師等を対象に下記内容にて座学もしくは実地研修を実施する。 1. かかりつけ医による在宅医療の提供について（患者との関わり方、診療報酬体系など） 2. 在宅医療における多職種連携について 3. 名古屋市医師会のサポート体制について（在宅療養あんしんサポートシステム） 4. 専門領域への対応について
ねらい	・かかりつけ医による在宅医療の提供体制の構築 ・外来診療と在宅医療の両立の実現
対応	① 16 区を対象に名古屋市医師会館 6 階にて開催。 ② 開催後、研修会の動画を HP 等で公開。

■事業内容（新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から各事業における対応を追記）

事業名称	I. ACP 研修会（概論編）の開催（本会にて16区を対象に実施）
<p>内容</p>	<p>在宅療養者を支える多職種において、本人の意思決定を多職種間で共有のうえ、つないでいくことが重要であることから、在宅療養者の意思決定支援への取り組みを推進するため、ACP 研修会（概論編）を実施する。</p> <p><目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ① ACP に関する基礎的知識の習得 ② 多職種チームによる意思決定支援についての理解 ③ 各職種の実践に ACP が含まれていることの理解 <p><主催> 名古屋市医師会</p> <p><研修内容> 講義及びグループディスカッション</p> <p><講師> あいち ACP プロジェクトにおける県／エリアリーダー</p> <p><その他> 研修受講者には修了証を発行のうえ、受講者リストを HP 等で公開</p>
<p>ねらい</p>	<p>在宅療養者を支える多職種の意思決定支援への理解を深め、多職種の円滑な連携により、在宅療養者が安心して在宅生活を続けることができ、また、在宅療養者本人の意思が最大限尊重される環境を構築する。</p>
<p>対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 16区を対象に名古屋市医師会館6階にて開催。 ② 開催後、研修会の動画をHP等で公開。

事業名称	J. 在宅療養に関する普及啓発の実施
<p>実施内容</p>	<p>市民を対象として、センター職員による在宅療養に関する普及啓発を行う。</p> <p>なお、普及啓発は関係機関と連携のうえ、下記1～4の内容を「名古屋市在宅医療・介護のしおり」を使用して小規模で開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. はち丸在宅支援センターの役割について（相談窓口の周知） 2. 在宅療養について 3. ACP（意思決定支援）について 4. 在宅療養を支える各職種の役割について
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が在宅での療養が必要になったときに必要なサービスを適切に選択できるよう、在宅療養に関する知識を普及啓発するとともに、相談窓口であるはち丸在宅支援センターの役割等を周知する。 ・市民が人生の最終段階の医療、ケアについて考え、話し合う機会を作る。
<p>対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① はち丸在宅支援センターでは開催しない。 ② 区役所等主催のイベントにおける相談ブースの出展は行わない。